

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

NO.4 2024.4

イベント報告

パーマネントコース巡り「小牧桃花台・四季の森」4月20日(土)

良好な天気です、楽しめた。

小牧市にある「小牧桃花台・四季の森」コースは愛知県では最も新しく平成15年に開設した。

桃花台というニュータウンをスタートし、市民いきの公園四季の森まで足を延ばす10kmのコース。桃花台には、かつて桃花台線というガイドを持った新交通システムがあった。名鉄小牧線の小牧駅と桃花台を結ぶ7.4kmの高架鉄道。1991年(平成3年)に開業し、2006年(平成18年)に営業を終了。客数が伸びず、赤字で、短い営業期間であった。頑丈な高架橋は撤去に多額の費用が掛かり、今もかなりの部分が残っており、僅かずつしか撤去は進んでいない。



今も残る桃花台線の高架

それで、桃花台へ行くには桃花台線に代わって走っているピーチバスを利用。ほかにも「こまくる」というコミュニティバスが走っている。65歳以上は無料であるが、いろいろ経由するので、時間的には??。小牧駅の発車時刻をネットで調べておいたが、ネットに表示された休日のダイヤが

更新されていないようで、現地のバス停表示時刻が異なり、戸惑う。



旧「桃花台センター」駅前に立つ、マスターマップ

パーマネントコースの地図は小牧市の東部市民センターで150円で購入できる。22年6月に実施したこのコース巡りと同様、購入した地図は樹脂コーティングがしてあり、耐水性を備えている。さらにこのA,B,Cの3コース分のポスト位置が印刷済である。そして、市民センター備え付けのマスターマップを見て、番号を記入し、線で結ぶ。残念なことに、ポスト位置を示す○が藤色で少々見難い上、樹脂コートが邪魔してインクのノリが悪いので、市民センターでは赤の細油性ペンを用意している。また、100キロコンペに関してはJOAの住所が古いので、職員の方が、新しい住所を教えてくれる。オフセット印刷のせいで、在庫も豊富なようで、しばらくの間はセンターの方のお世話になりそうだ。

いよいよ出発。今回は10番からコースを逆回り。



最初のポストに向かう

ポストは、少々水垢付着程度できれい。

地図はきれいに書かれ、見やすい。また、高速道路など広い道がある関係で立体交差もあり、細かい地図読みも必要とするところもある。地図では小さく見える団地内の公園であるが、中には意外と大きく、大会なら3つぐらいコントロールが置けそうな公園もある。最初に描かれた20年前は未舗装だったと想像できる田んぼの中の道が、今は100%舗

装されている。また、住宅や耕作地の多いO-mapでは高低差が見難くなってしまいがちであるが、この地図も同様である。こんな細かいところも気になったが、全体を通し、高低差が少なくシニア向けのコースだった。



(小野盛光)

桃花台 PC 永井 昇 さんのレポート



★名鉄電車・地下鉄・名鉄電車の乗り継ぎで小牧駅まで着いたのだが、小牧駅前の桃花台センターへのバス乗り場が分からず、近くにいた人に聞いたが分からず、直近のバスは無くタクシーを飛ばした。

東部市民センターへ来たら、玄関ホールは何の催

しがあるのか、すごい人ばかりでした。

案内窓口を探して明かりがつく方へ向かうとAさんの姿が見えて、ホットする。

地図を買い求めて、窓口の前でマスターマップのAコース10Kmを写す。

ここで揃ったのが男4人で、逆順の左回りでスタートした。

ペDESTリアンデッキを通過して出たのが、綺麗な公園で他コースのOポストがあった。

さらに進んで→A→P→E→L→D→J→N→B→K→M→ゴールの順で回ってきました。

ポストが合板製で驚きましたが、陽射しも風通しもよく、合板製のポストでも十分に耐えているのでしょうか。

回った所は全てオープンランドで、森も林も全く

ありませんでした。

昼食は遊園地で摂りましたが、炎天下でコンクリート製のテーブルと椅子でした。



川沿いの道路もすべて舗装されていて、構造物の階段の登り下りはあるものの、緩やかな坂道が多かった。

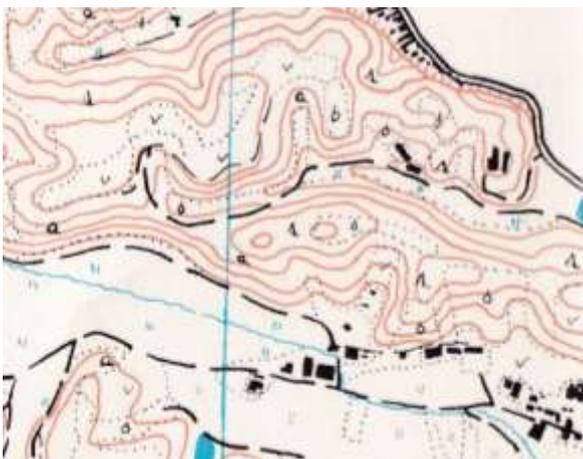
地図の大半の部分で等高線の表記は見当たらない。

住宅街や道路の植え込みのアカメが真っ赤に映えて印象的でした。

思い出のオリエンテーリング

O-map を調査し、作成する時代へ

昭和 50 年 2 月に開催された第 1 回全日本大会はオリエンテーリングマップとしては大きな変化を見せた。今までは、既存の国土地理院の地形図や市町村の行政図をそのまま複写・印刷して使っていたのを現地踏査し、製図ペンでプラスチックフィルムに製図するものである。その後、いくつかの大会で調査・作図した O-map が採用された。下の地図は昭和 51 年 4 月に愛知県南知多町で開催された J O L C 公認第 4 回中日東海ブロックオリエンテーリング大会に使われた地図である。



第 2 回全日本大会の地図では、水田など開けた土地

を橙色で表示したり、湿地を青色の横ハッチで表現していたが、中日東海大会の地図はまだ国土地理院と同じ記号を使っている。

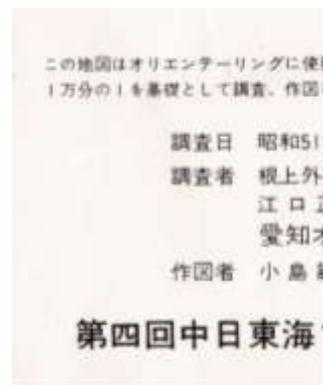
オリエンテーリングの公正な競技を望む人々が増え、航空写真を基とした国土地理院や行政図では現地と合わない箇所が気になり始め、行政図を基に調査・修正したものを要求する声が高まった。

当時の O-map 作成手順は以下のとおり

- ① 行政地図など調査のもととなる原図を入手する。2 万分の 1 の地図を作るなら倍の 1 万分の 1 の物を用意する。そして、位置合わせのために原図に 10 cm 程度の等間隔で升目を入れる。
- ② 何人かの調査者を決め、それぞれの担当範囲を割り振る。
- ③ 調査者は調査範囲の元図の上にプラスチックフィルムを貼り、現地へ入る
- ④ 現地で、プラスチックフィルムに、等高線や土ガケなど茶色で印刷するものは茶または赤色鉛筆で描く、同様に道や建物など黒色で印刷するものは黒鉛筆で、川や池など青色で印刷するものは青鉛筆で描く。また、元図との位置合わせのため、ます目の交差する箇所に十字のクロスマーク(トンボという)を 2 か所以上入れる。

- ⑤ これを持ち帰り、清書し、作図者に提出するものに仕上げる。
- ⑥ プラスティックフィルムを用意する。仕上げの地図サイズが A4 なら長さで 2 倍の A2 にさらに外周に余白をもたせ、B2 サイズとなる。
- ⑦ あらかじめ、O-map 全体の地図の位置、題字、地図記号の説明などの配置を決めておく。また、印刷時に 2 色あるいは 3 色の色ずれが生じないように位置合わせのトンボや所定のサイズに裁断するためのトンボを入れる。
- ⑧ 作図者は調査者から清書した現地調査結果を記載したプラスチックフィルム受け取り、これを印刷屋さん提出するフィルの下に置き、位置を併せて、道や建物は黒色用のフィルムに、池や川は青色用フィルムに、等高線や土ガケは茶色用フィルムに上から透視して書き移す。
- ⑨ フィルムに書くのに使うのが製図ペンであり、仕上がり 0.2 mm の線を描く場合は 0.4 mm の太さで描けるペンを使う。

そして、この時から地図に下のような調査期間や調査者の名前が記載されるようになりました。



地図が完成するまでにはまだまだいくつかの工程があります。今回、今の世の中には伝わりにくい内容で文字で表現するのは難しかったです。次回もし、わかりやすい図などが見つければ掲載したいと思います。

お知らせ

【変更になる場合もあります。HP (シニアのオリエンテーリング (catvmics.ne.jp)) でご確認ください。】

5月25日(土) パーマネントコース巡り

浜北コース(浜松市)

<http://home1.catvmics.ne.jp/%7Eono511/senior/pchamakita2024.pdf>

県立森林公園内バードピア 午前 10 時

駐車場あり、参加無料

公共交通機関が乏しいので、予め連絡をいただければ、天竜浜名湖鉄道 岩水寺駅前から 9 時 30 分に迎えに行きます。

コースはリニューアルされました。

翌日 26 日は PC リニューアル記念オリエンテーリング大会が開催されます。詳しい要項は

[オリエンテーリング大会開催 \(orienteeing.com\)](http://orienteeing.com)

あとがき

4 月 7 日の富士山麓オリエンテーリング大会で YTC78 の S さんに久しぶりにお会いした。長らくお目にかかれなかったので、お話を伺うと 11 月の全日本ミドルで急斜面を降りるとき、バランスを崩し、膝をひどくひねられ、長期の加療を余儀なくされたようです。少々回り道をして、自分の体に合った、安全はルートを選択することをより感じた次第です。

また、同じ富士山麓大会ではまだシニアには程遠い方がバランスを崩し、手を着いたときに岩に手をぶつけ、切り、感染症の心配があり 2 日間入院されたそうです。無理せず、がんばりましょう。